



全日本クラブ選手権初V  
和歌山箕島球友会監督

西川 忠宏さん

夏3回、甲子園の土を踏んだ。卒業後、電電近畿(現NTT西日本)に入社して都市対抗にも出場した。箕島野球を原点にし

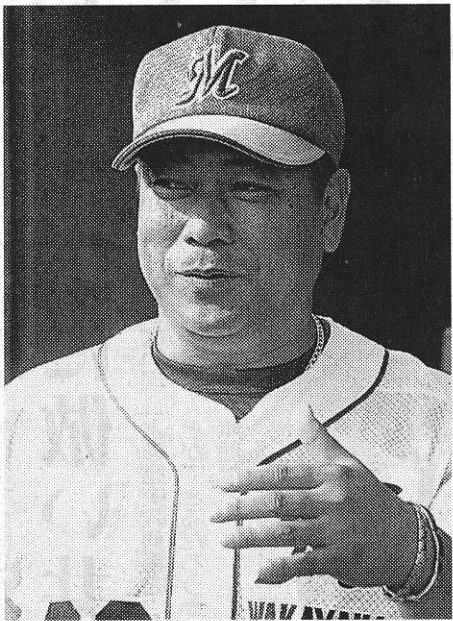
真剣な野球を続ける  
チャンスを提供したい

79年甲子園春夏連覇も成し遂げた箕島高のOBらが集まり、97年にチームが発足した。その発起人でもある。強打の内野手として春

30代も半ばを過ぎ、再び硬球を握りたいという気持ちを抑えきれなくな

した。「次は当然、プロと慢心していた」というの尾藤公・箕島高元監督に入社3年目、監督とそりが合わず退部した。「つ

社会人野球東春季大会	▽準決勝 (30日 清水庵原)	ヤマハ発動機野球部	4100001000	2
静岡硬式野球倶楽部	(ヤ) 坂口、大杉、國定、大塚	0000001001	0	6
(静) 実石、金田、栗城崇	▽三塁打 大塚(ヤ)▽二塁打	0100001001	7	
▽決勝	藤田哲、柴田、橋本(ヤ)	01003300X	7	
ヤマハ発動機野球部	10100001001	01003300X	7	
01003300X	7			
浜松ケイ・スポーツBC	(ヤ) 荒木、鈴木優、小西、大塚			
木	(浜) 安田、岩本、辰日野、鈴木			
▽三塁打    田原(浜)▽二塁打	伊藤、安間、藤田晴(ヤ)大			
瀬、朝倉、大田(浜)	※▽最高殊勲選手    朝倉弘人			
(浜松ケイ・スポーツBC)▽敢	闘賞    勝又慎介(ヤマハ発動機野			
球部)				



和歌山県有田市生まれ。77年センバツで2年生ながら4番・三塁手で優勝に貢献した。NTT西日本勤務。両親、妻美香さんとの4人暮らし。45歳。

しかし同じ思いを抱くOBは多かった。「あれほど打ち込んだ野球を忘

99年、選手を退いて監督に就任する。球友会は徐々に「箕島」の枠を超え、野球王国・和歌山のチームに成長。結成10年目の今年、ついにクラブ日本一の座に就いた。「真剣に野球をやりたい人間に機会を提供してあげるのがクラブ野球。やってきたことは間違っていないかった」。180

でも野球は一人ではできない。仲間が必要です。笑しながら、顧問を引き受けてくれた。今もチームの精神的な柱だ。写真・山下俊輔